

# これで不安はなくなる！幼稚園・保育園実習の心構え

～意欲があれば、実習なんて怖くない～

初めての实習。「子どもとのかかわり」のことから「実習録」のことまで、いろいろな不安があると思います。

でも、実習は心構え一つで、「子どもとのかかわり」も「実習録」も、全てが上手くいき、実りあるものになっていくんです。

今回、心構え一つで不安をなくすための話、「幼稚園・保育園実習の心構え」をお伝えします。

さあ、実習のことについて考えてみましょう☆

## 幼稚園・保育園実習の心構え

### 1. 実習ってなんだろう

「**実習は誰の為でもなく、自分の為**」にします。

実習は就職する前の準備段階。

実習は、

「**人間関係・上下関係・言葉づかい・挨拶**」など、社会に出てからの基本を

学ぶところ(機会)です。

(もちろん、子どもとのかかわり方や保育の方法を学ぶところでもありますよ☆)

しかし、実習生は、一歩園に入ると 子どもや親から見れば、先生になります。

そこでは、**実習生という甘えは出せません。**

「実習生だから・・・」という理由で、中途半端な行動をとるのは許されることではありません。実習生という甘えのせいで、子どもの心を傷つけるかもしれません。なので、精一杯取り組みましょう。

そして、せっかく子ども達とかかわるのですから、**あなた自身が楽しみましょう。**

「好きこそものの…」です！

**楽しんでいる時こそ、いろいろなことを素早く吸収できる**はずです。

精一杯、楽しんでください。

**楽しむ気持ち**が何よりも大切 なんです。

## 幼稚園・保育園実習の心構え

### 2. 実習の不安に打ち勝とう

実習生活の中で、先生の言葉は「**何でそんなこと言うの**」と思うような辛い言葉に聞こえてくるでしょう。

実習中に **何度も泣きたくなる** ことがあるかもしれません。

でも、冷静に考えれば、その「辛い」と思った時・出来事こそ、「自分のため」になってるんです。

何でもないような先生の言葉も、**実習のときは「辛く」聞こえるもの** なのです。

だからそういう時は、あえて辛い言葉も「私のために言ってくれてるんだ」と思い込んでみましょう。(素直に聞く姿勢も大切です)

しかし、そんな時でも、自分の考えとは明らかに違うと思った場合は、その事を伝えてみましょう。「言わないでモヤモヤしているより、言って何か言われたほうがよっぽど自分の為になります」。

その結果、やっぱり理解出来ないことは、冷静に考えられるようになった時に、その言われた言葉を思い返し、これから先の **あなたの経験の中で見直して** いけばいいのです。

「**辛いのは その一瞬だけ**」。

振り返ってみればきっと、自分にとって大切だったことに気付くはずですよ。  
実習は決して辛い事ばかりじゃありませんから。  
だって、子どもがいるじゃないですか。あなたは「子どもが好き」なんですよ？！

**辛いときは子どもと思いきり遊べばいい** んです。

「子どもから得るものが一番大きいのですから」。

**子どもの言葉に支えられる** ってことも多々ありますよ。

## 幼稚園・保育園実習の心構え

### 3. 男性が少ないことについて

あなたが男性ならば、女性だらけの幼稚園や保育園で実習することは、女性とは違った不安を覚えることと思います。

「保育士」という名称の前は、「保母」という名称が使われていたように、大半の幼稚園や保育園は長い間、女性だけの職場でした。

いまは、少しずつ男性の保育者がいる園が増えてきていますが、実習に行くとき多くの場合は、男性保育者がいない園だと思ったほうが良いでしょう。

でも、**男性であることを不安に思う必要はありません**。

むしろ「プラスになることもある」と前向きに考えて、実習に望みましょう。

それはなぜか？

それは、あなたが実習に行く園には男性がいないということです。

何を当たり前のことを言っているんだ！と思うでしょうが、そこがプラスなんです。

同性がいないということは、同性同士で比べられることはないということです。あなたを比べる人がいない為、確実にあなたをあなたとして見てくれます。

(先生が実習生同士を比べていると言いたい訳ではありませんよ。ただ、多くの実習生の中で、男性のあなたは、ひときわ目立ちます…)

また、男性が持つ雰囲気とパワーは子どもだけでなく、園の先生にとっても新鮮になるはずです。

ですので、「男性が少ない。男性だから…」と、不安になることはありません。  
性別よりもむしろ、

子どもと関わる姿勢、人としての態度、言葉づかい、積極性などの  
方が問題 になってくるでしょう。

男性であることは、かえることが出来ません。

性別を問題にするならば、その事を悩むよりも、女性の多い保育界で、いかに男性としての魅力を保育に活かせるかを考えていきましょう。

## 幼稚園・保育園実習の心構え

### 4. 大切なことは

**実習で大切なことは、実習に取り組む姿勢** です。

「1. 実習ってなんだろう」でも記述してありますが、実習は自分のためのものです。

なので、当然、**実習はやらされているものではありません** 。

「実習にはしかたなく来ている」という考えはなくしましょう。

実習で、「こんなことを知りたいんだ」「こんなことを学びたいんだ」「こんなことが、出来るようになりたいんだ」というような前向きな意欲を持ちましょう。

**「勉強したい、学びたい」という意欲ある姿勢** が、実習を実りあるものへとしてくれます。

そして、園には「実習をさせてもらっている」という気持ちを忘れないようにしましょう。

この「勉強したい・学びたいという意欲」と「実習をさせてもらっている」という姿勢を持つだけで、多くの園の先生たちが不快に感じている **「やる気のない実習生」**や**「感じの悪い実習生」** ではなくなります。

(この気持ちさえあれば、たとえ失敗したとしても、何とかなってしまいます☆)

まず、適当に実習に望まなくなり、  
意欲を持って望むことができ、疑問に感じたことを聞くことが出来るようになります。  
挨拶が出来るようになり、明るい笑顔で積極的に行動できるはずです。  
話を素直に真剣に聞くことができ、年上に対しての礼儀も持てるようになるはずです。

忘れてはならないことは、

**やる気のなさは**、園の先生だけでなく **子どもにも伝わる** ということです。

やる気のなさは、驚くほど、遊ぶ姿に表れます。  
遊びこめない実習生には、当然、子どももよりつかなくなります。

ぜひ、**意欲を持って実習に取り組んで** ください☆

人の考え方は正に「十人十色」です。ここに書かれていることが正しいとは限りませんので、行動するときは、自己責任で自分が正しいと思うことをしてくださいね☆

----- 発行元 -----

子育てする人を応援するサイト CHILD-LIFE

<http://www.child-life.jp/sun/>

-----  
Copyright © 2006 CHILD-LIFE ( [info@child-life.jp](mailto:info@child-life.jp) ). All Rights Reserved.  
-----

「☆著作権は放棄していませんが、レポートの紹介は大歓迎☆」

この無料レポートが「おもしろい」「ためになった」と思った方は、あなたの「サイト」「ブログ」「メルマガ」で、  
ぜひ **紹介してください**。

紹介する際には、<http://www.child-life.jp/mail/zis/> を併記するようお願いいたしますね☆